



津山小だより

天童市立津山小学校

校長 武田 裕一

令和7年4月23日

シダレヤナギの伐採について

本校グラウンド南側のシダレヤナギの木につきまして、昨年度より地域や保護者の皆様にご説明申し上げてきました通り、これまでも葉が生い茂る季節になると、支柱がゆがむほど幹が傾いておりました。立ち入り禁止の範囲を広げたり、ブランコの使用を禁止したり、子供達の安全に留意しながら対応して参りました。

昨年末には、専門家に依頼して樹木内部の検査を行いました。打音検査や音波を使って樹木の内部の精密検査を行ったところ樹木内部の腐朽、空洞化が進んでおり、倒木の可能性が非常に高く危険であるとの診断がなされました。



樹木診断の様子

そこで、PTAや地域の会合、学校後援会役員会等の席で報告させていただき、今後の対応について検討を進めてまいりました。3月半ばに専門家及び樹木剪定業者立ち会いの下、再度樹木の状況を確認し、伐採もしくは剪定についての説明を受けました。

4月22日学校後援会役員会の会合にてシダレヤナギの現状についてご報告申し上げたところ、子ども達の安全と遊び場の確保を最優先に考えると伐採もやむを得ないのご理解をいただき、伐採の措置をとらせていただくことになりました。

今後の進め方としましては、4月24日に、これまでの感謝の気持ちをこめてご祈祷を行い、5月連休明けには伐採作業を進めてまいりたいと考えております。

歴史あるシダレヤナギがなくなってしまう寂しさはありますが、今後は6年生が次世代の柳の木を守り育てていきます。皆様にご理解いただきますようお願いいたします。

